内部監査員セミナー　修了テスト

JARI-RB

2021年 5 月10日

ご氏名：

１．マネジメントシステム規格には、「予防処置」の言葉がありません。その理由を

　述べて下さい。

回答欄：

２．マネジメントシステム規格の「4.1組織の状況とその理解」では、外部と内部の

　課題を決定することを求めています。御社の場合、例えばどのような課題がありえ

　るのでしょうか。あなたご自身が思いつくものを列記して下さい。

回答欄：

３．「目的・目標を達成するための取組みの計画策定」においては、実施事項／資源

　／責任者／達成期限を明確にする必要がありますが、これら以外で必要とされるこ

　とを記載して下さい。

回答欄：

４．マネジメントシステム規格では、要求事項（管理活動）を事業プロセスへ統合

　することを求めています。御社の場合、どのようなケースがそれに相当している

　のでしょうか？　又は何をどれに統合するべきなのでしょうか？　少なくとも、

　どちらかの設問に、ご自身のお考えで述べて下さい。

回答欄：

５．マネジメントシステム規格では、「リスクと機会への取組み」が求められており

　ます。御社の場合、リスクと機会として具体的にどのようなものがあり得るので

　しょうか？　ご自身で思いつくものをいくつか列記して下さい。

回答欄：

６．監査には3種類あります。この内、第二者監査とはどういうものなのかを説明

　して下さい。（できれば、御社の事情に合わせて説明して下さい）

回答欄：

７．「監査基準」の一つはマネジメントシステム規格です。それ以外、どのような

　ものがあるのかを列記して下さい。

回答欄：

８．マネジメントシステム規格では、「監査プログラム」の策定を求めています。

　監査プログラムとはどういうものかを説明して下さい。

回答欄：

９．内部監査では結果報告が必要です。必要な報告先を列記して下さい。

回答欄：

１０．内部監査に関する以下の記述で正しいもの（適切なもの。問題ないもの）には

　　○、間違っているもの（望ましくないもの）には×を、〇×欄に記入して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 記　　述 | | ○　× |
| 1 | 内部監査なので、監査員は、自部署の監査を行っても問題は無い。 |  |
| 2 | 独立性の観点から、監査責任者は誰とも相談をせず、全く独自の判断で監査を計画し実施することが必要である。 |  |
| 3 | 監査員は、不適合を出した場合、決して改善のための方策を示してはならない。 |  |
| 4 | 管理部はマネジメントシステムの適用範囲に含まれているが、活動の規模は小さいので、最初から監査対象外としている。 |  |
| 5 | 基本的に2回の監査で全部門を監査する計画であったが、製造部には重要工程が多いので、2回とも監査対象にした。 |  |
| 6 | 重点監査項目を決めて監査を実施した。その結果、特に問題は見られなかったので、特段の報告はしなかった。 |  |
| 7 | 内部監査員の選任は、マネジメントシステム全体を把握している事務局が決定している。 |  |
| 8 | 組織はある業務の進め方を規定していない。部署監査で、監査員の考えより劣る進め方を確認したので、不適合とした。 |  |
| 9 | 監査中に、実施計画の進捗が滞っている事実を確認したので、監査員は自分の経験をもとに打開策の案を提示した。 |  |
| 10 | 内部監査で不適合を検出したが、その対応は管理責任者が管理することに取決め、是正処置の確認を行わずに内部監査を終了した。 |  |

以上